

平成 25 年度 第 5 回 静岡県作業療法士会 理事会資料 (平成 25 年 12 月 14 日)

参加者: 秋山, 岩井, 岡庭, 勝又, 岡田, 建木, 稲葉, 大庭, 齊藤, 村岡, 小林(理事: 11 名), 小笠原(監事: 1 名),
大川, 清水, 大石(部長), [高岡, 小坂, 辻, 武内(議事)]

場 所: 静岡県作業療法士会 事務所 (静岡) 13:00~

※【平成 25 年度 第 5 回理事会資料】<別紙資料>に順じて進行

【報告・確認事項】

1. 第 27 回静岡県 OT 学会 進捗状況について(大庭理事)

- 1) 進捗状況: 後援依頼 : 例年通りの団体に公文書郵送済み
 - ・各セッション: 座長・報告者の選任中(別紙参照)
 - ・レセプション: 企画内で県士会表彰の時間を設定(20 分程度)
 - ・演題募集 : 12月6日時点で 21 演題. 20 日まで締め切りを延長.
 - ・総会 : 11:20~12:50
 - ・連動企画 : 福利部連動企画『気ままにママランチ』6月1日(日)13:00 開催

広報部・福利部連動企画『ママの気ままトーク』→HP「OT のへそ」に掲示板設置

※開会式来賓に、PT・ST 県士会長の出席を打診したい。3 月の 3 士会会長会議で意見を伺う(秋山会長)
⇒反対意見なし。

2. 地域包括ケアシステム合同会議 進捗(岩井理事)

- 1) 前回の『療法士としての職能・専門性の提示』では、行政側に何を求めるのかが不明確。
『地域包括ケアシステムに対する OT の役割』として再度提案したい。⇒修正。
⇒OT が地域ケア会議に参加できるよう県・市の動向を伺い、検討・提案してほしい(責任者: 岩井理事)

3. 県士会バッジ作製の件→次年度以降に持ち越し

4. 県士会の休会制度→要綱作成、会員への広報(事務局)

⇒来年度の総会で承認を得て、受付開始。制度施行は再来年度からとなる。

【検討・審議事項】

1. 県士会財務・会計状況、県士会会計に関する運営方法の変更

1) 県士会財務・会計について

- ・部局会計のヒヤリング、12 月 7 日(土)実施。
- ・財務部の詳細情報資料不足分は 12 月中に整理すること。
- ・平成 24 年度末での残金未確認であり、平成 25 年度期首残金と現在の金額が不明確。
- ・現段階で帳簿上と現金誤差があり現在原因を確認中。

2) 会計に関する運営方法の変更

- ・メイン銀行静岡銀行: 来年度は必要な部局と支店連携できるようにする方針。(同一お客様番号で口座番号複数作る形)
- ・出納帳のつけ方整理: 1ヶ月毎に締め、月末時点の出納帳を時系列にし翌月初め提出(25 年 12 月分~)。
- ・年度末の残金の確認: 3月31日各部は残金を返金するように。

2. 事務局員増員の件: 全体の業務整理後に検討していく(一時保留)。

3. 平成 26 年度の会費納入方法の変更(コンビニ決済)

- ・12月4日再審査依頼。会員には 2 月中に払込用紙送付できるように進める。
請求回収業務委託契約書<<コンビニ>>送付済。口座振替契約終了届出書提出済。

4. 26 年度予算に対してヒヤリング実施(秋山会長、梶原副会長、三井副会長、小林事務局長)

→平成 26 年度予算案について、第 6 回理事会日の午前中に実施予定。

(各部担当者からは、事前に大まかな予算案・事業計画を提出してもらう)。

5. 会議費の用途について: 常識の範囲で用途を認めるが、不要な出費は出来る限り避ける。

6. 倫理委員会について:

- ・小林事務局長が担当。県士会に倫理規定はなく、協会に順ずる形で行っている。
- ・常設委員会として設置したい。⇒設置するための段取りを次回理事会までに作成(事務局)

【各部報告】※報告事項の詳細は各部理事会資料参照

1. 財務部(岡田理事)

- ・会計処理については調整中。
- ・県士会全体としての金銭管理を行っていく。
- ・会計ソフトを導入するために勘定項目や簿記なども把握していく。

2. 学術部(清水部長)

- 1) 第3回学術部研修会開催(平成26年2月16日)、各地区勉強会随時開催。

- 2) 学術部会開催(第3回学術部研修会終了後)
- 3) 県士会 SIG: 高次脳機能、精神科、発達ともに研修会及び研究会実施

【報告および確認、検討事項等】

- 1) 平成 25 年度 学術部方針および組織図

- ・学術部長変更に伴い、今後の学術部方針と方向性および組織体制について報告する。(別紙参照)
組織編成にあたり副部長の任命が急務、選出を考えている。尾崎勝彦氏(市立御前崎総合病院)を推薦

- 2) 研修会参加時の会員カード提示について: 会員証明シール4人に1人は貼っていない。

- ・会費納入のシールについては、研修会及び勉強会の告知の際に「今後、受講できなくなる可能性があるため、必ずご持参下さい」等の啓発文を追加する。

- ・再発行窓口はどこか。

⇒県士会 HP のダウンロード(書庫)に再発行依頼書を掲載済。

- 3) 学術部アンケートについて(期間: 12 月 3 日～13 日)

- ・実施要項: アンケートには表題を付けて配布。協会名簿の使用にあたり、県士会事務局とも調整したうえで送付・回収までを調査部に実施を依頼。

- ・送付先 : 複数名が勤務する施設: 172施設(※4 名以下が勤務する施設: 103 施設)

- 1 名のみが勤務する施設: 145施設、自宅会員: 161名

- 4) 次年度計画について

- ・「自助具、福祉用具」をテーマに年 3 回の研修会を開催予定。

- ・研修会の具体的な内容については 12 月中に各地区で検討し、1月に理事、部長、各地区責任者で 県士会事務局にて方針を検討。第 3 回学術部会にて決定事項の報告を行う。

- ・精神・小児分野の部員を募集⇒特別支援教育や精神科にも関わってほしい(SIG との関連含め)。

3. 教育部(村岡理事)

【報告事項】

- 1) 現職者共通研修(平成 26 年 2 月 2 日 常葉大学浜松キャンパス)

- 2) 教育部部会平成 26 年 2 月 22 日 あざれあ)

- 3) 現職者共通研修「10.事例報告」の対応について

県士会の事例報告会以外での発表の場合、学会や研修等で設ける教育部の窓口に申請する方法をとっています。ただ今年度は、白石に直接問い合わせがあった方については、直接やりとりをしている現状です。しかし来年度以降は、正規のルートのみで対応していきたいと考えています。

- 4) 新人オリエンテーション(平成 26 年 4 月 27 日 あざれあ)

⇒秋山会長、岡庭理事、講義依頼し了解。小林も事務局案内。

⇒基本的に理事出席。欠席の場合は部長が出席。理事の控室確保。

【懸案事項】

- ・事例報告について: 事例報告の様式について協会(4000字)もしくは県士会(1500字)、どちらのものを使用していくか⇒部会で検討

4. 広報部(稲葉理事)

- 1) 広報誌について

- ・OT しずおか 111 号発刊(11 月)。112 号 現在作業中(2 月発刊予定)

- ・記事掲載について: 17 日までに大石氏まで連絡。アドレス: shizuriha@ny.tokai.or.jp

- 2) HP について

- ・レンタルサーバーをテスト用に一つ契約。新デザインの検討や、投稿者の練習用に使用していく。

【活動報告】

- ・投稿後の修正が可能(問題がある場合は広報部へ連絡)。

- ・活動報告への投稿手順

「ログイン」→「活動報告をクリック」→「各部を選択してクリック」→「コンテンツの作成」→「題名、本文を記入してプレビュー後、修正が無ければ投稿」

- ・HP 担当杉田氏が体調不良

⇒記事投稿などでの問い合わせや依頼は後藤氏(こころの医療センター)までお願いします。

アドレス: worlds.end510@gmail.com

- 3) リーフレットについて: 原案完成⇒修正箇所あり。

- 4) 学会連動企画について

- i) ゆるキャラ: 現在までに計 5 件の応募 理事の皆様には啓発をお願いします。

- ii) OT のへそ: 学会側の要望で、主婦層をターゲットにした書き込み掲示板を設置(書き込み少ない)

- 5) 事務について: 中間報告実施。予定していた額を大幅に下回ると思われる。

5. 渉外部(秋山会長)

1)報告事項

- ・10月27日:東部地区タウンミーティング(三島市)
- ・11月2日:東海北陸学会開会式来賓(富山市)
- ・11月4日:静岡県介護福祉士会記念式典来賓(静岡市)、記念誌原稿依頼
- ・11月8日:県庁訪問
- ・11月14日:医師会決起大会
- ・11月24日:愛知県作業療法士会法人 30周年・法人化記念式典(名古屋)→祝電にて対応
- ・12月12日:常葉大学 木宮学園長逝去に対して、弔電にて対応

2)今後の予定

- ・1月25日:POS訪問リハビリテーション実務者研修会(閉会の辞)
⇒三井副会長、梶原副会長に依頼(秋山会長)
- ・3月1日~2日:県士会リーダー研修会
- ・3月15日:静岡リハビリテーション懇話会理事会
- ・3月16日:POS災害対策研修会(司会)
- ・3月未定:3士会会長会議

3)懸案事項

- ・提案事項:県士会学会の来賓について(前項参照)
- ・第28回OT学会の学会長について:検討中。⇒12月中に決定し3役会を開催する。

6. 福利部(齊藤理事)

1)第2回静岡OTリーダー育成研修会開催について

- ・日程:3月1日(土)、2日(日)
- ・会場:伊豆長岡 おおとり荘
- ・内容:特別講義:大石氏 「マネジメントについて(仮)」、他2名程度の講師依頼を検討中。
(案) 秋山会長 「県士会の展望」
三井副会長 「管理者としての立場からリーダーへ求めるもの(仮)」内諾済
講師検討中 「モラルと責任について(仮)」
- ・参加費:予算を元に検討中、10000円前後の予定

2)上半期会計報告について:研修会開催にあたり必要経費が大きくなることが予想される。

3)第27回静岡県作業療法学会懇親会の協力依頼について

懇親会担当より連絡があり、各地区対抗での余興を予定。各地区代表の選出依頼をいただく。

7. 事業部(建木理事)

1)実行委員会:3回実施(平成25年9月5日、10月3日、11月7日)

2)広報事業:・ラジオF(富士市ラジオ局)

- ・富士ニュース
- ・福祉科が設置されている高校訪問(静岡県立富士宮東高校・静岡県立富岳館高校)

3)作業療法体験デー実施報告

- ・日時・場所:平成25年12月1日(日) イオンタウン富士南 サウスコート
- ・内 容 :作業体験、自助具展示、自助具作成体験、障害者体験
- ・そ の 他 :パンフレット配布・パネル展示
- ・実 績 :①作業体験 :参加100名(家族の付添、見学者は除く)
②自助具展示・作成体験:112名
③障害者体験 :15名
④パンフレット配布 :日本作業療法士協会発行 96冊

・所感

参加者は、子供と保護者が中心。今年は予約制をとり参加人数は減少したものの、作業療法の説明も含め比較的丁寧に対応ができた。自助具展示・作成体験はSIG創造塾へ依頼をし、展示およびクリップ箸の作成を行った。見学・参加者は中高年中心で、クリップ箸の作成体験は大人の参加も多くみられた。

4)第9回公開講座活動報告

- ・日時・場所:平成25年11月24日 吉田町公共学習センター
- ・参加者数 :112名(一般83名)
- ・内 容 :介護予防体操の実演を交えた講演
- ・アンケート結果(別紙参照)

8. 調査部(大庭理事)

- 1) 行政機関等への協力調査:102名から返信(別紙参照)
 - ・地域活動推進部と制度対策部にデータを提出。
- 2) 学術部アンケート
 - ・施設ごとに取りまとめて郵送(12月3日~13日)。12月中に学術部に提出予定。
- 3) 「がんりハ」に関するアンケート:PT士会調査部(浜松医大病院 竹内氏)と連携をしていく。
※補正予算を立てたい⇒必要であれば良い(承認)。

9. 制度対策部(旧保険部):梶原副会長

- ・特記事項なし

10. 地域活動推進部(岩井理事)

- 1) 区割り:2次保健医療圏域の8地区割りへ変更。
 - ① 賀茂(下田市・東伊豆町・河津町・南伊豆町・松崎町・西伊豆町=6地区):担当
 - ② 熱海伊東(=2地区):担当
 - ③ 駿東田方(伊豆市・伊豆の国市・沼津市・三島市・裾野市・函南町・清水町・長泉町・御殿場市・小山町=10地区):担当
 - ④ 富士(富士宮市・富士市=2地区):担当
 - ⑤ 静岡(清水区・葵区&駿河区=2地区):担当
 - ⑥ 志太榛原(島田市・焼津市・藤枝市・牧之原市・吉田町・川根本町=6地区):担当
 - ⑦ 中東遠(磐田市・掛川市・袋井市・御前崎市・菊川市・森町=6地区):担当
 - ⑧ 西部(浜松市天竜区、浜松市(地区の確認)、湖西市=3地区):担当
今年度中に担当者を決定したい。 ※理事を含めるか否か方針検討していただきたい。
⇒各地区担当理事が8地区(①~④東部地区、⑤⑥中部地区、⑦⑧西部地区)をまとめる。
- 2) 組織体制
担当理事兼部長(1名)→圏域代表(8名)→市町村代表(36名)→所属施設代表(施設数)
来年度圏域代表者&市町村代表者研修会を開催したい。
また、8圏域毎で市町村代表者と共に所属施設代表者研修会を開催する。
※了承いただければ来年度予算案に盛り込みたい。
- 3) 活動内容
 - i) 毎年組織体制名簿作成
 - ii) 連絡網の整備
 - iii) 協会・士会活動推進圏域代表者・市町村代表者・所属施設代表者研修会開催
 - iv) 県・市町村への具体的な対応を協議して実行と、委員等の派遣
まず手始めとして、県・市町村に圏域代表者と市町村代表者で挨拶まわりをして何かあったら市町村代表者に連絡をくださいと願います。
※了承いただければ来年度予算に盛り込みたい。
⇒地区により状況は異なる。徐々に移行してはどうか。

東部(岩井理事)

- 1) 地区勉強会の開催
 - i) 開催日 :平成25年12月2日(月)
会場 :長岡リハビリテーション病院
参加者 :30名
テーマ :「チームアプローチについて」
講師 :長岡正範氏(長岡リハビリテーション病院非常勤医師)
- 2) タウンミーティング&懇親会、地区代表者会議の開催
 - i) 地区代表者会議:
 - ・日時 :平成25年10月27日(日) 教育部事例報告会の前に開催。
 - ii) タウンミーティング兼懇親会
 - ・日時 :平成25年10月27日(日) 教育部事例報告会終了後に開催。
 - ・参加者:69名。

中部(勝又理事)

- ・特記事項なし

西部(建木理事)

1)第3回西部地区勉強会

- ・日時 :2013年11月27日(水)
- ・場所 :聖隷クリストファー大学
- ・介護保険制度以外での在宅支援の在り方-障害者総合支援法利用までの流れ-
- ・講師 :浜松市健康福祉部障害保健福祉課 生活支援・育成グループ 鈴木孝人 氏
- ・参加人数:29名

11. 都道府県連絡協議会(岡庭理事)

平成25年度第2回東海北陸支部会要旨

【都道府県作業療法士会連絡協議会報告】

1)支部割の見直しについて

- i)支部割の変更は次回総会での承認になる。
- ii)支部割の変更に関連する事項:・本会役員輪番制について
・OT協会機関誌「都道府県連絡協議会だより」の執筆順について変更

2)協定書について

⇒継続審議 12月21日 3役と会長で打ち合わせ予定(別紙アンケート)

3)現況調査の時期:各県士会が総会を開催する6月を区切りに調査票を記載。

4)次年度活動計画について

- ・本会の次期総会:平成26年5月31日予定。
- ・合同研修会は次年度も実施⇒4月下旬頃の予定。
- ・新たに始まった臨床実習指導者研修会も各支部の協力を得ながら進めたい。
- ・次年度は「生活行為向上マネジメント」と「認知症初期集中支援チーム」について支部内での情報交換促進。
- ・「認知症初期集中支援チーム」の研修会が3会場で行われる。

【第14回東海北陸作業療法学会】

- ・開催日 :平成26年11月15日(土)、16日(日)
- ・場所 :四日市市文化会館
- ・特別講演:藤田太寅氏(元NHK解説主幹、NHKスペシャル「闘うリハビリ」の司会)
- ・教育セミナー、シンポジウム、morning seminar、information sharing
⇒県士会に依頼あり(災害対策、広報担当者)

【平成25年度各士会活動予定(別紙参照)】

【平成25年度東海北陸支部リーダー研修会】⇒2月末までに5名申込み

- ・確定者 :建木理事、清水部長、白石部長
- ・その他の予定者:大川部長、岡本氏⇒確認

12. 災害対策委員会(村岡理事)

【報告事項】

1)静岡災害リハ研修会実行委員会の報告

- ・日時:平成26年3月16日(日)10:30~16:00 静岡労政会館にて開催
- ・テーマ:災害時のより良い連携を目指して-しずおかの現在を知り、考え、そしてつながる-
- ・内容:特別講演「静岡県第4次地震被害想定について」
グループワーク「防災クロスロードゲーム」
震災映画上映「逃げ遅れる人々」「命のことづけ」
- ・スタッフ5名派遣:QUOカード1000円配布する予定。
他士会は日当という形で配布されるが、OTは源泉徴収票や他の研修会運営スタッフなどとの兼ね合いから如何か。⇒小田巻氏に確認(事務局)

※次回実行委員会:平成25年12月18日(水)19時30分~ 静岡PT士会事務局

2)災害時連絡システム 登録者数:202名

13. 法人化推進委員会(勝又理事)

【進捗状況】

- 10月22日 申込書および登記証明書を郵送→経営管理部総務局法務文書課(担当者:増田氏)宛て
- 11月7日 「移行申請に関する基礎研修会」の出席(東京都港区虎ノ門にて)
- 12月現在 電子申請書類を作成中
公益法人インフォメーション <https://www.koeki-info.go.jp/>
- 12月19日 公益財団法人公益法人協会主催セミナー参加(静岡市駿河区)

【今後の作業】

- ・定款の変更(法人格取得前に行うもの)⇒小田巻氏と連携し行っていく。
 - ・電子申請書類を理事にも入力してもらう。
- ⇒モデル会計提出のために平成 27 年の取得は難しい。平成 28 年公益法人格取得に向けて進めていく。

14. 表彰委員会(秋山会長、小坂氏)

- 1) 日本作業療法士協会「特別表彰」表彰候補者推薦→本年度は該当者無しで、事務局を通して返信済み
※表彰規定の変更
「名誉会員表彰」…名誉会員となった者。
「会長表彰」…長年に亘る協会活動従事を通して、協会事業に多大な貢献をした者。
「特別表彰」…会長表彰に該当しない正会員その他関係者で、協会発展に著しく寄与した者。
- 2) 静岡県秋の叙勲・褒章候補者の推薦→本年度は該当者無しで、事務局を通して返信済み
- 3) 平成 26 年度 県士会表彰
表彰予定者(4 名) 小笠原紀子 谷川正浩 村田雄二 渡邊雅行 (敬称略、50 音順)
表彰式開催予定日: 第 27 回静岡県作業療法学会、懇親会にて(懇親会費無料: 予算は表彰委員会)。

15. 訪問リハビリテーション連絡委員会(齊藤理事)

- 1) 静岡県訪問リハビリテーション連絡会会議
 - ・開催予定日: 平成 25 年 12 月 15 日(日)13:00~
 - ・会場 : ケアーズ沼津訪問リハビリテーション
 - ・参加者 : 各士会の訪問リハビリテーション連絡会委員
 - ・内容 : 第4回静岡県訪問リハビリテーション実務者研修会(入門編)について
- 2) 静岡県訪問リハビリテーション実務者研修会
 - 1) 訪問リハビリテーション実務者研修会(入門編)
 - ・開催日: 平成 25 年 1 月 25 日(土)~1 月 26 日(日)
 - ・会場 : ふしみや 静岡市葵区呉服町 2-3-1 902.903 会議室
 - ・定員 : 60 名
 - ・対象者 : 各士会の会員であれば経験, 未経験は不問
 - ・参加費: PT・OT 士会会員は無料. ST 士会会員 2,000 円
 - ・内容:
 - i) 1 月 25 日(土)
 - ① 事例報告『訪問系リハビリテーションの実際』120 分
 - ・司会: 静岡県訪問リハビリテーション連絡会 委員
 - ・講師: 寺田佳子氏(聖稜リハビリテーション病院 理学療法士)
竹内基氏(沼津聖隷病院看護ステーション千本 作業療法士)
西條直子氏(城西神経内科クリニック 言語聴覚士)
 - ② 講義およびグループワーク 180 分(休憩 10 分を挟む)
講師: 堀田富士子氏(東京都リハビリテーション病院 医師)
 - ii) 1 月 26 日(日)
 - ③ 講義 : 『訪問リハビリを活用する方法~諸制度の理解』60 分
講師 : 平井睦氏(ケアーズ沼津訪問看護リハビリステーション所長 作業療法士)
 - ④ グループワーク: リハビリ職種が思う在宅生活に必要な職種とその役割 40 分
 - ⑤ ロールプレイ : 他職種ロールプレイ見本(悪い例)と意見交換 60 分
講師 : 看護師 訪問看護ステーション三方原 所長 尾田優美子氏
ケアマネジャー 沼津介護支援専門員連絡協議会 会長 深沢康久氏
介護福祉士 フジ虎ノ門訪問介護ステーション 管理者 平澤和美氏
在宅での生活について, 担当者会議(悪い例)を3場面見ていただき, 意見交換を行う。
 - ⑥ グループワーク: 見本からの意見集約とロールプレイ準備 60 分
担当者会議(悪い例)での内容にてグループ毎に意見集約を行い, グループ内で役割を決め良いと思われる担当者会議を開催。
 - ⑦ グループワーク発表3グループ, ロールプレイ3グループ, 専門職種からの意見 80 分

16. 事務局(小林事務局長)

- 1) 報告事項
 - ① 後援依頼等、県士会への依頼について
 - ・「退院後の生活を支える医療・介護連携シンポジウム」介護支援専門員協会より後援依頼⇒承諾回答

②案内・お知らせ等について

- ・都道府県士会ニュース(随時)
- ・他団体ニュース・広報誌(随時)

③会費納入状況

平成25年度会費納入者 869名 未納者 426名 (11月21日時点)
期日までの納入者数、会員の約 70%

- ・12月督促状、督促状原案別紙参照、督促者人数 約430名の予定

④事務局来客者・・・静岡鉄道(株)シニア事業部 小澤様、長橋様⇒作業療法士募集の依頼

(株)アイ・クリエイティブ法人営業部 寺本様⇒講師派遣の依頼⇒情報を把握し検討

⑤リコーリース契約状況:前項参照

⑥県士会費実査確認報告・・・

- ・財務の通帳・・・現在事務局にて保管
- ・通帳残金 計 3,424,256 円 誤差等については、現在原因を確認中。
- ・各部予算金・・・あと配分予定金 ¥6,569,500-
現在の各部持ち出し分・・・¥633,338- (これを支払うと残現金は¥2,787,918-配分の優先順位)
- ・各部への分配・・・優先順位をつける:持ち出し分の清算→至急使う部から分配
- ・出納帳のつけ方のルールがバラバラな事も問題。(今から入金も遡って入れ込み、正確な残金に修正できるか?)

2)確認依頼事項

- ①財務部へ→会費納入の領収書の送付先を事務局に変更をお願いします。

3)検討事項

- ①県士会社章作成について:前項参照

- ②会計・財務との業務調整:前項参照

- ③総会までのスケジュール

- ・1月 :各部・・・今年度のまとめと次年度の計画
- ・2月 理事会 :次年度の計画・予算立て(3月: 次年度の計画)
- ・3月末日 :決算締切・・・4月4日 会計まとめ →税理士小田巻さんに確認依頼。
- ・4月 理事会 :12・19の理事会で総会資料の確認。(行うとすれば読みあわせ)
- ・5月 :連休前に印刷・発送

- ④総会の運営・総会資料:担当(武内)→年末までに作成し、2月理事会では詳細計画を報告

4)その他

- ・愛知県作業療法士会 30周年記念式典・・・祝電
- ・常葉大学 木宮学園長の御逝去・・・弔電

17. その他:

- 1)認知症初期集中支援チームに対応する作業療法士のための研修会 開催のお知らせ

- ・地区メールやHPにてアナウンスしているが、研修受講者には各士会で伝達してほしいとの趣旨もある。
県士会として受講者を推薦してはどうか。

⇒三井副会長へ報告

第6回理事会日程:2月15日に決定 10:00～ 会長、副会長、事務局長集合し事前に資料確認
11:00 ヒヤリング開始
～
13:00 理事会開始

懸案事項・決定事項についての確認

- 第 27 回 OT 学会開会式に来賓として PT・ST 士会会長の出席依頼をすることについて
⇒3 月の 3 士会会長合同会議で PT・ST 会長に意見を伺う(秋山会長)
- 地域包括ケアシステム合同会議
⇒地域包括ケアシステムに対する OT の役割の修正(岩井理事)
今後、OT が地域ケア会議へ出席できるよう関係機関に働きかけていく。
- 県士会バッジ作製の件⇒次年度以降に持ち越し。
- 県士会の休会制度
⇒開始時期は次年度総会後に承認を得て施行。
要綱作成(事務局)、総会終了後、会員への広報を行う。
- 県士会財務・会計状況、県士会会計に関する運営方法の変更
⇒**財務の収支報告等、未提出の資料を早急に提出する(岡田理事)**
⇒12 月末までに、会計収支状況を確認し、実際の残金との帳簿上の誤差を明確にする。
平成 25 年度の収支について、PC へのデータ入力を行っていく(事務局)
- 事務局員増員の件
⇒今年度の会計関連の作業、総会準備の作業量を参考に検討する。
- 平成 26 年度の会費納入方法の変更(コンビニ決済)
⇒リコーリースへの手続き作業を行っていく(事務局)
- 平成 26 年度各部の計画に対してのヒヤリングの実施
⇒次回理事会にて AM11:00~実施予定
各部局・委員会の責任者は、平成 26 年度事業計画および予算案を 1 月末まで事務局に提出。
- 会議費の用途
⇒食事代については、常識の範囲で用途を認めるが、不要な出費は出来る限り避ける。
- 倫理委員会の設置について
⇒常設委員会として設置するための段取りを次回理事会までに作成(事務局)
- 現職者共通研修「10. 事例報告」の様式について
⇒協会(4000字)又は県士会(1500字)、どちらを使用していくか教育部部会で検討(村岡理事)
- POS 訪問リハビリテーション実務者研修会(1 月 25 日)の閉会の辞について
⇒三井副会長、梶原副会長の出席は可能か確認(秋山会長)
- 第 28 回 OT 学会の学会長について
⇒中部地区担当、12 月中旬に決定し 3 役会を開催する(中部地区の理事)
- 平成 25 年度東海北陸支部リーダー研修会(2 月末までに 5 名申込み)
・確定者 : 建木理事、清水部長、白石部長
・その他の予定者: 大川部長、岡本氏⇒確認
- 研修会運営スタッフ派遣に対する QUO カード配布について
他士会は日当という形で配布される。OT は源泉徴収票や他の研修会運営スタッフなどとの兼ね合いから如何か
⇒小田巻氏に確認(事務局)